

国際標準を視野に入れた細胞診ワークショップ (WS)

ジョンズホプキンス大学 (JHU) - 米国細胞病理学会 (ASC) - 日本臨床細胞学会 (JSCC) 合同 WS

公益社団法人日本臨床細胞学会
国際交流委員会委員長 榎本 隆之

期 日：2019年12月14日(土)、15日(日)
場 所：慶應義塾大学医学部東校舎 JR 総武線信濃町駅下車
アクセスマップ <http://www.med.keio.ac.jp/maps/>
プログラム：[こちら](#)から
参加資格：日本臨床細胞学会会員
募集人数：250名
参加費：10,000円(二日間)(ハンドアウト代含む)
申込方法：[こちら](#)から

近年、細胞診断も国際的な標準化が進み、各領域での Reporting system も公表されています。

この度、JHU の Syed Ali 教授より申し入れがあり、3名の米国の細胞病理医 Cytopathologists とわが国 JSCC の細胞病理が合同して、各領域の細胞診について講義をする WS を企画しました。プログラムをご覧くださいとお分かりのように、2日間の WS で日常の細胞診のほぼ全領域のキーポイントを習得することが出来ます。

米国からの3名の講師は以下の方々です。



Syed Z. Ali, M.D.

Professor of Pathology and Radiology, Director of Cytopathology, The Johns Hopkins Hospital, Baltimore, Maryland, USA



Daniel F. I. Kurtycz, M.D.

Professor, Department of Pathology and Laboratory Medicine
University of Wisconsin School of Medicine and Public Health
Madison, Wisconsin, USA



Peter B. Illei, M.D.

Associate Professor of Pathology, The Johns Hopkins Hospital, Baltimore, Maryland, USA

講義内容は、ハンドアウトとして当日配布されます。

また、細胞診専門医、細胞検査士とも日本臨床細胞学会の更新のためのクレジットが得られます。
(クレジット申請中)

国際標準に根差した日米合同のワークショップに奮ってご参加ください。